第１２号
3月11日特別号
発　行

干潟中だより

旭市立干潟中学校
旭市入野２１７０
0479－68－2456

【教育目標】　「主体的に生き生きと行動する生徒の育成」
～自ら気付き、考え、行動する生徒と教職員で魅力ある学校をつくろう～

走馬燈のように駆け巡る　それぞれの思い　～３年生を送る会～

４４名の３年生は、明日卒業を迎えます。年明けと共に始まった高校入試。そして、後輩たちの感謝の思いが詰まった３年生を送る会。事前に録画された映像は、工夫とユーモアにあふれる発表でした。３年間を振り返ったスライドショーが流れた時には、一人一人、万感の思いがこみ上げてきたのではないでしょうか。後輩たちに聴かせてくれた気持ちのこもった校歌。伝統の継承の最後にふさわしい立派な歌声は、力強い春の息吹を感じさせてくれました。

【１年生からは部活動ごとに先輩への感謝のメッセージ】　【２年生からは思い出の学校生活ムービーとラストエール】

【生徒会本部役員デザイン
総合学芸部制作の展示作品】
１，２年生一人一人の感謝の気持ちです。学校行事や部活動では、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

【カレーライスのバトンタッチも無事に】

【３年生から贈られた校歌とメッセージ】
３年生から贈られた心のこもった熱いメッセージは、１，２年生の昇降口に飾られています。これからも決して忘れることなく受け継がれていくことでしょう。

卒業前の思い出に　もう１ページ

卒業記念の校外学習は中止になってしまいましたが、３年生最後の学年レク大会は、これまでのコロナ禍の中で我慢してきた思いやエネルギーを発散するかのように大いに盛り上がり、友と過ごす最後の時間を満喫していたようです。

思い出の詰まったグラウンドや体育館。最後まで全力で楽しんだレク大会のラストショット

強く正しく　いざ行かん　干潟中学　わが母校

明日の卒業式は、３年生と保護者（各家庭２名まで）、在校生を代表して生徒会本部役員が参加して挙行します。また、米本市長様が来賓としてご臨席くださり、卒業生の門出を祝福していただきます。そして、卒業の歌として、『干潟中校歌』を３年生のみ斉唱します。

この３月、干潟中学校は創立５０年の幕を閉じようとしています。これまで、多くの方々からたくさんの温かな支援に包まれてきました。この節目にふさわしい４４名の若人たちは、古きよき伝統を守りつつ、真面目さ、謙虚さ、優しさを身にまとい、母校から巣立っていきます。この先、どのような荒波が来ようとも、どのような高い壁が立ちふさがろうとも、強く正しく、自分を信じて、目の前に広がる大空に羽ばたいてください。心から応援しています。

『我らが母校　干潟中学』

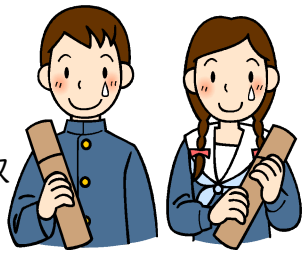
総の大地の極まりて　　干潟の広田　目もはるか
椿の海を拓きたる　　世々のいさおのしのばるる　　干潟中学　わが母校

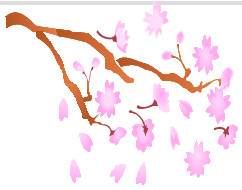
古き文化の香もしるく　　産業日々に伸びゆきて
偉人の説きしひとのみち　　いまも心の支えなる　　干潟中学　わが母校

空は明るく　風清く　　希望は雲とわきあがる
若人われら手をくみて　　強く正しく　いざ行かん　　干潟中学　わが母校

いよいよ年度末（今後の予定）

3月12日(土)　第50回卒業証書授与式
14日(月)　振替休業
15日(火)　1,2年キャリアパスポート家庭配付
16日(水)　2年教室移動、ノー部活動デー
18日(金)　1年教室移動、生徒委員会、1,2年キャリアパスポート回収
23日(水)　給食終了日
24日(木)　1,2年学年集会
25日(金)　令和3年度修了式





校長室より

私が教員になって初めて3学年担任をしたのは、採用3年目の25歳の時でした。卒業生からすれば、入学時の副担任。2学年からの新しい学級担任として、若いということだけを武器に、無我夢中の2年間でした。昼休みには、学年生徒と校庭でサッカー。男子ばかりと楽しんでいたためか、女子からは敬遠されたこともしばしば。大変なことも多かった日々でしたが、なんとか生徒と一緒に進級でき、3学年担任へ。そして、生徒たちの将来がかかった進路事務。冬休みは元旦を除いてほぼ毎日、職員室で調査書を作成していました。とにかく、初めての卒業生となる教え子たちのために全身全霊を尽くして、日々を過ごしていました。

いよいよ3月、卒業式が目前に迫ってきました。先輩方からは、「絶対に泣くから覚悟しておいた方がいいぞ。」と、ほぼ全員から言われていました。そういうものかと思いながらも、「本当に泣けるものなのか。もし泣けなかったら自分はだめなのか。」との思いに駆られつつ、ついに当日を迎えてしまいました。卒業証書授与のための呼名、在校生代表送辞に続き、卒業生代表による答辞。ここまで来ても泣ける兆候は感じませんでした。「自分は何をしてきたんだろう。」と思いながら、いよいよ送別の歌。『蛍の光』の伴奏が流れ、いざ「ほー・・・？！」口は開けど、続きの歌詞はとうとう最後まで出てきませんでした。代わりにあふれ出てきたのは・・・・・・。

28年前の懐かしい思い出でした。明日は校長になって初めての卒業式。どうぞよろしくお願いします。